

コード	503010101
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	浦田三喜男

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	スポーツ実践活動の充実事業	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーション	項コード	6
基本事業コード	50301	基本事業名称	スポーツによる健康づくりの推進	目コード	1
事務事業コード	5030101	事務事業名称	生涯スポーツの普及と振興事業	細目コード	1020
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標						
(対象1)		体育協会加盟人数	(対象指標1)		2,384人				
(対象2)		スポーツ活動住民	(対象指標2)		7,000人				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
*****		本年度は8事業を行った。 1. 町民スポーツ祭り(166人) 2. こども相撲大会(52人) 3. 初心者テニス教室(9人) 4. 南阿蘇村交流事業(57人) 5. 佐田の山杯こども相撲大会(224人: 前夜祭含む) 6. がんばらば体操教室(96人) 7. ウォークラリー大会(38人) 8. ジュニア陸上教室(199人)	*****	*****	*****	実施事業件数8件÷	*****		
			事業実施件数		8件	133%	計画した事業件数6件	平成20年度	
			①	(達成率分析)	予定事業は6事業すべて実施した。がんばら体操教室とジュニア陸上教室の2事業が増えた。				
			②	(達成率分析)					
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)						
各種スポーツ大会を開催することで、住民スポーツに親しむ機会を増やすとともに、住民の健康増進や交流促進を図るものである。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
			*****	*****	*****	参加者数841人÷参加予定者数1,000人	*****		
			参加者数		841人	84.1%		平成20年度	
			①	(達成率分析)	1,000人程度の参加者を見込んで設定したので、達成率が低い。				
			②	(達成率分析)					

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	14	16	8	6	8					
	②										
成果指標	① 人	1,793	1,634	793	1,000	841					
	②										
総事業費C (A+B)		千円	24,105	24,099	15,593	8,512	8,506				
直接事業費 A		千円	3,105	3,099	1,593	1,512	1,506				
人件費 B		千円	21,000	21,000	14,000	7,000	7,000				
内訳	従事職員数	人	3.0	3.0	2.0	1.0	1.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	24,105	24,099	15,593	8,512	8,506				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	町民の健康づくり、体力づくりの推進は、町が支援すべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	時代の変化に関係なく、町民の健康づくりは支援していく必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	町民の健康づくりの支援であり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	町のスポーツ行事として定着しつつある。主な行事で町民スポーツ祭りに166人、がんばらんば体操教室96人、ジュニア陸上教室199人、こども相撲大会52人、佐田の山杯こども相撲大会に74人の参加があった。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	基本的には、年間6回の行事を計画して、合計1,000人の参加を目指している。人口減、高齢化で伸び悩んでいる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	健康づくりの意識及び町の活性化が損なわれる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	必要最小限度の予算である。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	準備等のための人件費であり削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	1日保険等の参加費の受益者負担を実施している。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在の事業を基本に内容を吟味する。
		有効性	さらに参加者を増やし、スポーツ活動を充実させる必要がある。
		効率性	受益者負担をさらに進める。
	2次評価	妥当性	町民の健康づくりとスポーツ交流の活動であり妥当である。
		有効性	参加者数では目標達成までにはいたっていないが、住民へのスポーツ参加を促す面では2事業追加し参加機会を増やしている。今後も啓発等や実施事業など検討をすること。
		効率性	今後も効率的な経費の執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。